



にしきの子

学校教育目標（合言葉）

- 一、しっかり学ぶ 錦の子
- 一、よりよく生かす 錦の子
- 一、なかよく生きる 錦の子
- 一、元気でがんばる 錦の子

第1回授業参観・学級懇談会・令和7年度PTA総会

4月23日（水）、今年度最初の授業参観・学級懇談会を実施しました。新しい学年・学級での学校生活スタートし、約2週間が経ちました。新しい担任や友達との関係も少しずつですが慣れてきたようです。授業参観では、緊張しながらも一生懸命に取り組む児童の姿が随所に見られました。学級懇談会では、新担任から学級経営方針等について説明をしました。保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。PTA総会では、新会員である5名の教職員の紹介や、新PTA会長の 湊 弘之 様 を始めとした新役員の皆様の紹介がありました。湊会長様、新役員の皆様並びに会員の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。



避難訓練（地震・火災）

5月9日（金）、地震発生後の火災を想定した避難訓練を行いました。訓練では、「お・か・し・も・ち」の重要性を再確認しました。児童には、災害時に限らず、日頃から意識してほしい心構えとして、「正常性バイアス」にかからないこと、「自分の命は自分で守る」という強い意識をもって行動することなどについて話をしました。



学校生活の様子

大きな事故等もなく、無事に連休が明けました。体調不良の児童も少なく、みんな元気に落ち着いた態度で授業に取り組んでいます。

元気はつらつ一年生



一致団結の二年生



成長著しい三年生



大きくなった四年生



たのしい五年生



最上級生の六年生

いじめゼロ強調月間

5月はいじめゼロ強調月間です。本校では以下の取組を実施し、子供たちが明るく充実した学校生活を送れるように努めてまいります。

① いじめゼロ強調月間スローガンの周知・徹底を図ります。

《いじめゼロ強調スローガン》 “いじめゼロ しない 負けない 許さない”

② 児童は、いじめゼロリボンシールを胸章につけ、いじめゼロの意識を高めます。

③ 5月21日（水）、全校児童を対象に、いじめゼロ集会を実施します。

④ 教職員は、期間中にいじめに関わる内容を含んだ道徳の授業を、各クラスで1回以上は実施します。

⑤ 教職員は、いじめアンケート調査を5月1日（木）から5月16日（金）までに実施します。

⑥ 教職員は、各階の教室や廊下、特別教室、校庭等を巡回し、未然防止に努めます。（いじめの訴え等があった場合、被害・加害児童、関係児童、保護者等からの聞き取りを行い、客観的な事実関係を把握します。いじめが疑われる事案が確認された場合は、「錦小学校いじめ防止基本方針」に基づき、適切に対処いたします。）



エージェンシー ～寓話「ストーン・キャット」から～

欧州のある古い教会での話です。ある神父が野良猫を飼っていました。彼が祭壇の前でお祈りをする時に、猫がイタズラをするので、お祈りの時は祭壇の脚にヒモでつなげるようにしました。やがてこの神父が亡くなり、2代目の神父になると、同じようにお祈りの時は、祭壇の脚に猫をつなげました。3代目の神父も2代目にならって、お祈り中は祭壇の脚にヒモでつないでいました。4代目の神父は面倒くさがり屋で、生きた猫でなく、石の猫を作らせ祭壇の脚の横に置きました。5代目の神父は、床に置かれている石の猫が邪魔だと思い、石の猫を祭壇の上に置きました。6代目以降の神父たちは、常に祭壇の上に置かれた石の猫に向かってお祈りするようになりました。そうしていつのまにか、この教会では、あの石の猫が神聖な存在になってしまいました。そして、その経緯を知っている人は誰もいないという話です。これは、「ストーンキャット」という欧州の寓話で、私たちに教訓を伝えています。私たち人間は、長く行ってきたことには必ず何かよい意味があると思いがちです。その思い込みが、想像力や判断力を鈍らせてしまい、存在する理由や合理性に目がいかなくなります。そうして、時代やその時の状況に応じて、たまたまできた仕組みが、一つの神聖化したルールとして受け継がれてきているというのです。



この教訓を真摯に受け止め、「いままでそうだったから」の前例踏襲型思考や、「上司や同僚が賛成しているから」の同調圧力的思考から脱却することが大切です。特に、学校現場では、ベストの答えを出すことはなかなか難しいです。時代の流れやその時々家庭・地域・児童の実態を把握し、ベターな方法を模索していく努力を重ね、教育活動を展開していかなければなりません。昨年5月の学校だより第2号で、「変革を起こすために目標を設定し、振り返りながら責任ある行動をとる能力」についてコラムを載せました。これは、「エージェンシー」とも言われています。持続可能な社会の創り手である子供たちが、予測困難なこれからの社会を生き抜くために身につけてほしい力の一つとして注目されています。

私たち教職員は、自分でよく考え、自分なりの考えをもち、その考えを相手にしっかりと伝え、自分の言動を振り返りながら、責任をもって行動できる教職員集団であり続けなければなりません。そして、目の前の子供たちに、「生きる力」を育んでいかなければならないと考えております。



本校のHPは日々更新しています。
最新情報はHPでご確認ください。



にっこりえがお
しっかりまなぶ
きたえるからだ